

そろそろ10年経つ
んじゃないかな？



そろそろ電池切れ
じゃないかな？

住宅用火災警報器

住宅用火災警報器とは、煙や熱などを感知して、火災の発生を知らせる器具です。

★連動式とは？…無線で連動しており、ひとつが火災を感知すると、ほかのすべての警報器が鳴ります。

★補助警報装置とは？…高齢者や目の不自由な方にも火災の発生を知らせるために、住宅用火災警報器と連動して、音や光を発します。



平成28年11月

50代女性が自宅の台所で調理中、圧力鍋を火にかけたまま、隣にある事務所へ移動。事務所の来客が、白煙が出ているのを発見し近づく、警報音が聞こえたため、消防署と家人に知らせたため、火事には至りませんでした。

豊橋市でも！実際にこんな事がありました

住人がガステーブルに鍋をかけたまま外出してしまい、警報器が作動。隣人が警報音に気づき、119番通報したので、到着した消防隊員がガステーブルのスイッチを切り、出火には至りませんでした。

平成27年6月

住宅用火災警報器は、10年を目安に交換をおすすめします！

そろそろ交換時期！

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、

火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です！10年を目安に交換しましょう。

〔設置時期を調べるには？〕火災報知器を設置したときに記入した「設置年月」、または、本体に記載されている「製造年」を確認してください。

新しい火災警報器に交換したら、本体の側面などに、油性ペンで「設置年月」を記入しましょう！



定期的に作動確認をし、音を聞きましょう！

ボタンを押す、またはひもを引いて作動確認をします。

定期的に火災時の警報音を確認しましょう。



ちゃんと作動する！

〔音が鳴らない場合は？〕電池がきちんとセットされているか、ご確認ください。それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」です。取扱説明書をご覧ください。

※ 火災警報器の種類によって、細かい注意点が異なります。製品に付属している取扱説明書を必ずご覧ください。

豊橋市消防本部からのお知らせ

